

なおし家26周年特集 院長にインタビュー

1994年12月6日、西荻窪に鍼灸院を開院させていただき、皆さまのおかげでこの12月、無事26周年を迎えることができました。



患者さんからお花とメッセージカードをいただきました♡

(それまで院長はどこで施術を?)

それまでは、代々木の「赤ひげ堂」という所で10年間修行していました。そこでは今の深層筋鍼法のベースになる「陰指圧」を学びました。また多くの施術経験を積むことができましたね。

(なぜ、西荻窪で開院を?)

若い時から西荻に対する憧れがあって、大好きな街だったので、結婚して迷わず西荻に住みました。都会なんだけど田舎のような癒しの気があって、ほんとに大好きです。(現在自宅は伊豆ですが)

(最初は、なおし家鍼灸院という名前ではなく?)

最初は「身心健康堂」という名前でした。“体の苦痛と心の痛みを癒す”という理念で、15年間やらせてもらいました。その時代に「骨ぎわ指圧」を開発したり、いろんな方のご縁で「家庭でできる療法(セルフケア)」を学んで施術に取り入れたりしてきました。



1999年5月号
『ゆほびか』より
(マキノ出版)

(その頃に学んだ家庭療法、具体的には?)

安部徹先生の「自律神経免疫療法」、石川洋一先生の「ふくらはぎマッサージ」、三井とめこ先生の「温熱療法」などですね。安部先生には講演をしていただいたり、石川先生には伊豆の温泉地でふくらはぎマッサージを直々に指導していただいたりしました。懐かしいです。

三井先生はもう亡くなられていましたが、当時学んで取り入れたものが、今使っている温熱器や温熱ドームです。現在のなおし家鍼灸院の養生法に全てつながっていますね。

(なおし家鍼灸院と名称を変えたのは?)

鍼灸院がそれまで厚木や藤沢にもありましたが、行き来する大変さもありましたし、大好きな西荻だけにして名前も変えて新たなスタートを切りました。理念は「体や心の問題を終わらせるお手伝いのできる鍼灸院」。

なおし家の「家」は、ファミリー。スタッフや患者さんと心の交流を深めたいという想いを込めました。

(院長が大事にしている「心の交流」ですね)

そうですね。また、これまで東京と伊豆で離れていた妻とも、今年になり一緒に過ごす時間が増えて、夫婦の心の交流もずいぶん増えました。

「家族の時間を大切して」とスタッフみんなが応援してくれるので、こんなありがたいことはないです。スタッフみんなにも感謝しています。

(新たな施術法も開発されましたか?)

はい、今から12年前に、慢性病の原因となっている深部にあるコリを溶かしていく「深層筋鍼法」を開発しました。
その深層筋鍼法を使ってパソコン病、首コリ、五十肩、パニック障害などの施術法をつくりました。
私は、施術法を開発すること、創作するのが大好きなんです。もう、趣味ですね(笑)



2017年2月『医道の日本』より
(医道の日本社)

(なおし家鍼灸院で後身の育成もやられている?)

そうですね。何人かのスタッフたちが卒業していき、それぞれの場所で頑張ってくれています。
姜(かん) ヨンソさんは、新宿御苑前で「深層筋のはり治療院FREE」を、中島章均さんは群馬県高崎市で「鍼灸整骨院田ごと」を、星子武規さんは、スペインのバルセロナでセルフケアの普及に尽力してくれています。
また9年前から毎年、3ヶ月間の「~すぐ身につく・一生使える~鍼灸師養成コース」を行って鍼灸師の養成も行っています。施術も好きですが、教えることもワクワクして大好きなんです。



鍼灸師養成コースでの実習風景

(これからの展望は?)

まずは、40年間鍼一筋に取り組み開発できた「深層筋鍼法」を世界の鍼灸師が使えるように広めていきたいですね。いろんな病気が改善できると自信を持っています。

それと、この26年間を振り返って一貫しているのは、「体」の施術だけでなく「心」も同時に癒したいという想いがあったことですね。

その想いが、心や意識の専門家であり、素晴らしいカウンセラーである浦鉄平講師とのご縁に繋がり、2年前からなおし家鍼灸院で「根源治療セミナー」を定期的で開催しています。

浦講師から学んでいる「心のバランスをととのえる理論と実践法」は、心の分野で初めてアメリカで特許を取り世界で認められました。

私たち夫婦やスタッフが学び実践しながら、今後さらに体や心の悩みをもつ方たちのお役にたちたいと願っています。



かどちんの日常

第三話 どっちが先?

作・絵 妻すがこ